

第83期報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

STARZEN REPORT

スターゼンレポート

食を通して人を幸せにする
グローバルな生活関連企業を目指す



人々の生活に欠かせない「食」を扱う企業として、持続可能な社会づくりに貢献するべく、サステナビリティ経営を実践してまいります。

当期(2022年3月期)概況について

株主の皆様には、日頃より格別のご支援並びにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の食品業界においては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響から、不確実性の高い事業環境が続きました。国内では、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用により、外食需要が低迷する一方で家庭内需要が堅調に推移しました。

このような中、当社グループは「相場に左右されない収益力の強化」のテーマのもと、2021年7月に富士総合食品株式会社と業務提携契約を締結し、コロナ禍で需要が伸びているミールキット等、高付加価値商品の共同開発を進め、外食業態への新たな提案や、中食市場への販路を拡大しています。また、当社の基幹システムの基盤更改に併せて進めている、DXによる全社的な業務プロセス改革(Zeusプロジェクト)も順調に進捗しています。加えて、コロ

ナ禍において職場の衛生管理を徹底するとともに柔軟な勤務体制等の対策を講じ、従業員並びに関係先様の安全確保に配慮しながら事業を継続してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は381,432百万円(前期比9.2%増)、営業利益は6,905百万円(前期比3.3%増)、経常利益は9,165百万円(前期比6.5%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、昨年度に連結子会社の吸収合併に伴う法人税等の負担減少があり、その反動等が当期に影響を及ぼしたことから、5,984百万円(前期比13.5%減)となりました。

来期(2023年3月期)の見通し

昨年度から続いているエネルギーや農産物価格の高止まり、依然として予断を許さない新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵略の長期化等、今後も先行き不透明な経済状況が続くと予想されます。

食肉業界では、引き続き物流の混乱や世界情勢の悪化による需給バランスの変動、販売競争の激化、各種コストの増加等が懸念されます。一方で、昨今の「新しい生活様式」によって新たなニーズも生まれています。

このような事業環境を踏まえ、2023年3月期は、「収益力強化に向けた体質改善」をテーマとしました。今後も食肉加工メーカーとしての機能を強化していくとともに、キャッシュフローを意識した仕入・在庫・販売を進めることで、攻めと守りのバランスのとれた事業展開を図ってまいります。

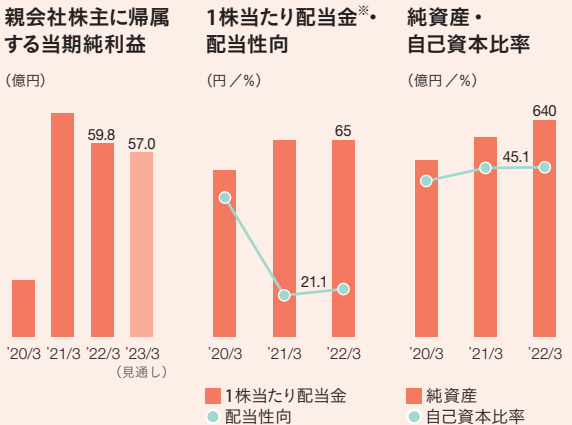
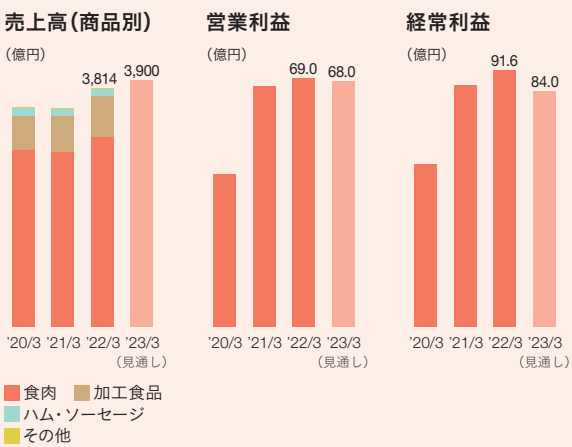
また、当社グループは人々の生活に欠かせない「食」を扱う企業として、持続可能な社会づくりに貢献し、様々な社会課題にも対処してまいります。具体的には、当社の高度な衛生管理体制やプロセスセンター機能を生かした賞味期限延長商品の開発を一層強化し、食品ロスの解決に寄与します。加えて、太陽光発電の活用や、営業車の排ガス抑制、エコフィードによる豚肉生産など環境へ配慮した取り組みを推進してまいります。

更に、Zeusプロジェクトおよび物流改革を加速させ、より強靱で柔軟な事業基盤を築いてまいります。前者は様々な業務プロセスを改革し効率化を図るもので、今期は検証を重ねてきた新たな施策を順次リリースいたします。後者については、外部物流会社と連携し、荷役業務の効率化を行い、ドライバー不足への対応やコスト抑制、環境負荷低減にも貢献してまいります。

2023年3月期の連結業績予想につきましては、売上高3,900億円、営業利益68億円、経常利益84億円、親会社株主に帰属する当期純利益57億円を見込んでいます。

2022年6月
代表取締役社長

横田 和彦



※2021年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、2021年度以前は遡及修正を行った場合の数値で作図しております。

配当について(2022年3月期 期末配当金)

当期の期末配当につきましては、当期の業績および財務状況などを総合的に勘案し、前期と同額の65円とする予定です。

1株当たり配当金 65円

サステナビリティの取り組み

サステナビリティ基本方針を策定

当社のサステナビリティに関する基本的な考え方を示す「サステナビリティ基本方針」を以下の通り策定しました。
今後は本方針に則り、サステナビリティ経営を推進してまいります。

サステナビリティ基本方針

スターゼングループは、創業以来、人々に欠かせない「食」を提供することを使命とし、社会に貢献し続けることを目指しています。ステーキホルダーの皆さまの期待に応えながら環境・社会・経済をめぐるさまざまな課題解決に「食」を通じて取り組み、持続的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現に努めます。

気候関連財務情報開示 タスクフォース(TCFD)の提言に賛同

TCFDは、気候変動がもたらすリスクと機会が企業経営に与える財務的影響を評価し、適切に開示することを推奨しています。当社は、2021年12月にこのTCFD提言への賛同を表明しました。当社グループの事業は国内外における家畜の「いのち」を起点としており、家畜の健康的な成育環境の確保には、気候変動と非常に強い関わりがあります。今後は、気候変動が当社に与える影響を的確に把握し、TCFD提言に基づいた積極的な情報開示を進めます。



重要課題を特定

2022年2月、持続可能な社会の実現のために中長期的に取り組むべき「重要課題」を特定しました。これからも社会に必要とされる企業であり続けるために、これら課題の解決を通じてグループ全体で持続可能な社会の実現に貢献していきます。

E 環境	テーマ 1	持続可能な環境への配慮 重要課題01 気候変動 重要課題02 食品ロスの削減
	テーマ 2	働いてよかったと思える 魅力ある職場づくりの実現 重要課題03 労働慣行 重要課題04 労働安全衛生 重要課題05 従業員満足
S 社会	テーマ 3	安全・安心な食の追求 重要課題06 品質・安全性 重要課題07 健康栄養
	テーマ 4	再生産可能な安定調達、 供給体制の維持・向上 重要課題08 サプライチェーンの強化 重要課題09 アニマルウェルフェアの推進
G ガバナンス	テーマ 5	実効性の高いコーポレート ガバナンスの実現 重要課題10 コーポレートガバナンスの強化



詳細はこちらをご覧ください。

取り組み事例

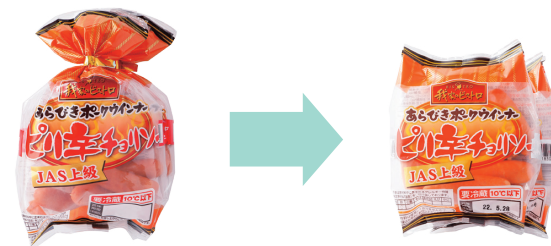
「精肉用スキンパック包装(グリーンフラット使用)」商品が「第60回2021年ジャパンパッケージングコンペティション」(JPC)にて一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞を受賞

スキンパックは、特殊なフィルムで食肉を真空包装し、酸素による劣化やドリップ（保存時に食品から出る水分）を抑制し、鮮度保持と賞味期限の延長を実現する技術です。また、JPC2021で表彰された当社の「精肉用スキンパック包装」商品は、凸版印刷㈱の「グリーンフラット」という、プラスチックトレイの代わりにバリア性の背板紙を用いる包装システムを採用することで、プラスチック使用量を削減しています。



バリア性の背板紙を用いたスキンパック商品
(凸版印刷㈱による「グリーンフラット」使用)

巾着形態商品のエコタイプパッケージへの切り替え



4月中旬より、「我家のビストロあらびきポークウインナー」など主力商品を皮切りに、巾着形態商品の包材を、環境に配慮したエコタイプパッケージへ順次切り替えています。
パッケージの変更により、対象商品のプラスチック使用量を約30%※削減します。

※現行商品と比較した計算値

阿久根工場加工センターに太陽光発電設備を導入

スターゼンミートプロセッサー㈱阿久根工場、加世田工場に続き、3例目となる太陽光発電設備を、2022年2月28日、阿久根工場加工センターに導入しました。スターゼングループでは、重要課題において「2030年度末までに温室効果ガスを2020年度比にて46%削減」という目標を掲げています。



スターゼンミートプロセッサー㈱阿久根工場
加工センター太陽光パネル

2021 年度のトピックス

さらなる成長に向けて、各部門で様々な取り組みを進めています。

2022 年度も前年度に引き続き、環境・社会・経済の持続可能性に配慮した事業を推進していきます。

富士総合食品株式会社と加工食品事業に関する業務提携契約を締結

2021年7月1日、富士総合食品株式会社と業務提携契約を締結しました。同社は機内食、ホテル、レストラン向け食品製造の高い技術力を有しており、従前から食品加工業務の委託などを主体に取引がありました。業務提携を機に、お互いの経営資源を組み合わせ、加工食品の新たなマーケットに挑戦していくことを目指します。現在、大手外食ブランドのミールキットなど、中～高価格帯商品の共同開発を行っています。



※盛り付け例です。

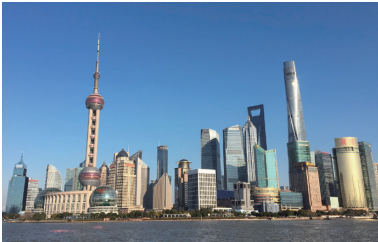


富士総合食品(株)製造商品例

中国上海市に子会社、**星 徳 真 食 品 (上海) 有限公 司** を設立

2021年12月6日、中華人民共和国の上海市に、**星 徳 真 食 品 (上海) 有限公 司** を設立しました。中国では人口増加や経済発展に伴い、食肉需要が急増しています。一方、日本国内では人口減少に伴う市場縮小が予想されることから、当社グループでは海外市場の拡大に取り組んでいます。

星徳真食品では豪州産牛肉や米国産牛肉を主に取り扱いながら、将来的な日本からの和牛輸出解禁を見据えた販売ネットワークを開拓していきます。



株式会社大商金山牧場との資本業務提携契約を締結

2022年3月31日、株式会社大商金山牧場と資本業務提携契約を締結しました。

大商金山牧場は東北地方において、主に牛豚の生産、食肉の部分肉加工・アウトパック加工、加工食品の製造、並びにこれらの卸売を行う企業です。今回の業務提携を機に協業を深め、共同販売や事業の効率化、そして、SDGsに係る施策推進における相互協力を通じて両社の企業価値の向上を目指します。



会社情報

会社情報 (2022年3月31日現在)

設立	1948年6月17日
本社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号
資本金	116億5,827万円
主な事業内容	1. 食肉の加工および販売 2. 畜産物の生産、加工および売買 3. 食肉および畜産物の輸出入 4. 食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、外食産業、コンビニエンスストア、生協、食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
社員数	2,756名 (連結ベース)

役員 (2022年6月29日現在)

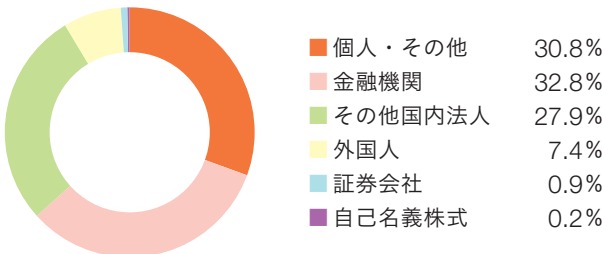
代表取締役社長	横田 和彦
常務取締役	鶉橋 正雄
取締役	高橋 正道
取締役	定信 隆壮
取締役	佐奈 常裕
社外取締役	大原 亘
社外取締役	吉里 格
社外取締役	松石 昌典
社外取締役	江藤 真理子
監査役	菅野 耕平
社外監査役 (常勤)	平田 将士
社外監査役	小越 信吾

株式情報

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	19,522,552株
株主数	15,999名

所有者別株式分布状況



大株主の状況 (2022年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
三井物産株式会社	3,109	15.96
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	1,766	9.07
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	734	3.76
株式会社三井住友銀行	649	3.33
農林中央金庫	608	3.12
株式会社三菱UFJ銀行	559	2.87
スターゼン社員持株会	477	2.45
株式会社鶉橋興産	469	2.41
株式会社みずほ銀行	320	1.64
横浜冷凍株式会社	306	1.57

(注) 1. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

お知らせ

株主メモ	事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
	剰余金の配当基準日	3月31日
	定時株主総会	毎年6月下旬
	公告方法	電子公告 https://www.starzen.co.jp/ir/koukoku/
	単元株式数	100株（2022年3月31日現在）
	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

株主優待 日頃からご支援いただいている株主の皆様に感謝の気持ちを込めまして、株主優待を所有株式数（2022年3月末時点）に応じ、次の通り進呈いたします。



200株
以上

3,000円相当の
当社グループ
製品

1,000株
以上

5,000円相当の
当社グループ製品
（ミートギフトか加工品ギ
フトのいずれかを選択※）

2,000株
以上

10,000円相当の
当社グループ製品
（ミートギフトか加工品ギ
フトのいずれかを選択※）



10,000円相当の製品例

※2022年3月31日時点の株主様より、商品の選択制度を導入いたします。

ご寄付

2021年度より、社会貢献活動団体・組織等への寄付制度を導入いたしました。ご寄付をご希望される株主様につきましては、優待品の発送に代わり、社会貢献活動団体・組織等へ優待相当額を寄付させていただきます。

※寄付の対象となる社会貢献活動団体・組織については、社会情勢を踏まえ都度選定し、ホームページ等にてお知らせいたします。

ご寄付の御礼とご報告

2021年度の株主優待品（2021年3月31日時点の株主様対象）の贈呈において、ご寄付をご選択いただいた株主の皆様には厚くお礼申し上げます。

2021年度の寄付金額の使途につきましては、新型コロナウイルス治療の最前線で日々懸命に看護に従事される方々を支援するため、「公益社団法人 日本看護協会」への寄付といたしました。

ご寄付をご選択された株主様 81名

寄付金額 407,000円

寄付先 公益社団法人 日本看護協会

寄付金の使途 新型コロナウイルス感染症
対策に関する事業

寄付日 2021年9月10日



100株
以上

ギフト優待販売
歳暮ギフト、中元
ギフトを特別価格
（送料無料）にて
ご案内



おせち優待販売

「ローマイやおせち」を
特別価格（送料無料）
にてご案内（数量限定
販売）



※画像は一例です。※株主優待の内容は予告なく変更する場合がございます。

ご注意：本報告書に記載されている当社グループの将来予測その他の情報は、現在入手可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。種々の要因により変化することがあり、目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。それゆえ、実際の業績などは異なる可能性のあることをご承知おきください。

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号

電話：03-3471-5521

